

2024(令和6)年は西区制80周年

知ってる?

西区のむかし

西区文化協会は1981(昭和56)年の創立。創作・芸能・茶道部門に分かれて活動しており、誰でも加入できます。「にしぶんか」は創立から5年後に発刊されました。西区に密着した文化と歴史、地域に隠された趣あるエピソードを交えて、温故知新を語り継ぐ広報誌です。地域振興課(区役所4階48番窓口)でお渡ししています。



2024(令和6)年に西区は80周年を迎えます。これを記念して、西区文化協会が発行している広報誌「にしぶんか」から、これまでの西区の歴史をひも解いていきます。ぜひ西区のむかしに思いをはせてみてください。

第1回 西洋文化との出会い にしぶんか No.34 から

アメリカのペリー艦隊の浦賀への来航をきっかけに、西欧諸国の日本に対する開港圧力が強まりました。武力で劣る日本はやむを得ず開港を決めました。その影響をできるだけ小さくするため、港は当時寒村だった横浜村(現在の神奈川県庁近く)に開設しました。東海道と港を結ぶための道路を突貫工事で造りました。現在の浅間町から、平沼、戸部を経て港へつながる最短道路です。このために野毛山は削られ、「野毛の切通し」が生まれました。野毛山からは、港近くの外国人居留地や外国船が望めましたし、イギリスやフランスの兵隊が訓練後に、ラッパを吹きながら山手の駐屯地に戻る行軍も見えました。こうした光景は当時の人たちにとって異国情緒あふれる新鮮なものと映りました。



イギリス軍駐屯兵の行進



野毛の切通しより開港場方面を望む(横浜市立図書館所蔵)

問 西区文化協会事務局(地域振興課内) Tel 320-8392 fax 322-5063